

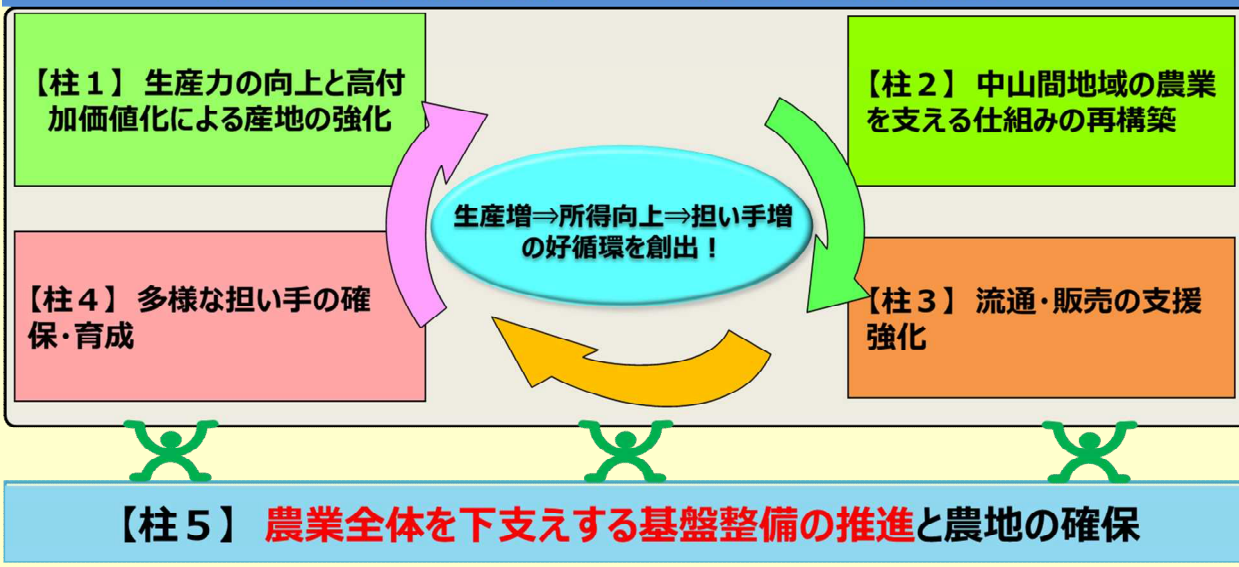
農業・農村を支える基盤整備事業の推進

1. 農を強くする（地域で暮らし稼げる農業の実現）

農業全体を下支えする基盤整備の推進

高知県第4期産業振興計画

農業分野の施策の展開 ～地域で暮らし稼げる農業～



今後の取組

基盤整備（ほ場整備）の推進

地形条件や地域ニーズに応じたほ場整備を推進し、優良農地を確保する

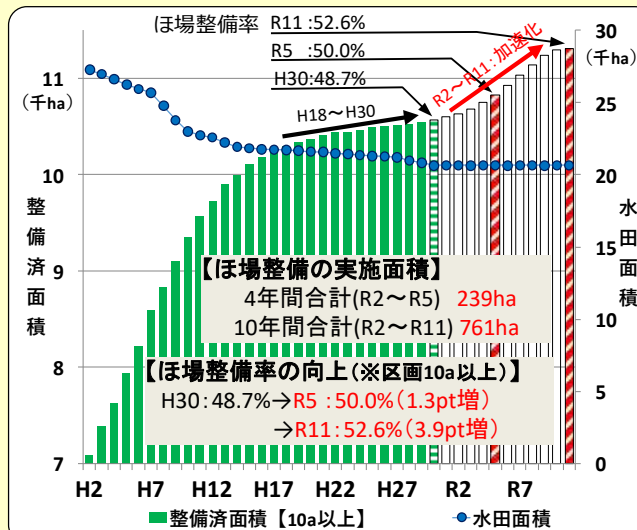
具体的な取り組み①

◆地域ニーズの把握とほ場整備の実施に向けた地域の合意形成を支援

事業化

具体的な取り組み②

◆地形条件や地域のニーズに応じたほ場整備の実施（国庫補助事業の活用）



提言①

農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するための**基盤整備予算の確保**

2. 農村を守る（安心して暮らせる農村環境の実現）

ため池整備の推進

本県での取組状況

| 【ソフト対策】 | 【ハード対策】 | |
|---|--|--|
| ①ため池マップ ②緊急連絡網 ③浸水想定区域図 ④ハザードマップ ⇒R2年度までに 県・市町村で完了予定 | 【地震対策】 耐震補強の実施（計画:21池） ・R2年度末までに →15池完了予定（残:6池） うち「3か年緊急対策」 →12池完了予定 | 【豪雨対策】 洪水吐改修等の実施（計画:21池） ・R2年度末までに →14池完了予定（残:7池） うち「3か年緊急対策」 →12池完了予定 |

「防災減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(H30～R2)を
活用し整備等の取組を加速化

防災重点ため池の見直し

「平成30年7月豪雨等をふまえた今後のため池対策の進め方について」農林水産省（H30.11.13）により
防災重点ため池の見直しを実施

121池⇒**228池**（大幅増）※R2.6月時点
追加となった防災重点ため池については
耐震及び豪雨調査を実施中



今後の取組

「地震対策：6池」＋「豪雨対策：7池」＝「合計13池」の対策が必要

＋ 加えて「防災重点ため池の見直し」等により

R2年度末時点で新たに対策が必要であると判明したため池

【地震対策】→9池

【豪雨対策】→87池

※ため池下流の状況により人家等への影響が大きいものから実施



防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する**特別措置法の成立**（R2年6月）

「3か年緊急対策」が終了する**R3年度以降においても、引き続き対策が必要**

提言②

農村地域の防災・減災対策をさらに加速化するための予算の確保

「3か年緊急対策」以降においても、南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策をさらに加速化するための**「農村地域防災減災事業」の予算確保**